

第6回管理者セミナーを開催

平成15年3月5日に東京都千代田区の手町サンスカイルームで会員の管理者クラスを対象に第6回管理者セミナーを開催しました。

このセミナーには約100名の方に参加いただき、医療分野における安全管理に関する講演及びNSネットの相互評価で抽出された良好事例紹介・ディスカッションを行い、安全風土・安全文化の醸成について会員間で認識を共有しました。



▲ 亀田総合病院 特命副院長 牧野永城氏

NSネット梅津事務局長の挨拶、田中安全部長の活動報告の後、原子力以外の他産業における安全性向上に向けた先進的な取り組みとして、医療における安全管理に関し、「医療分野における臨床評価指標」と題して亀田総合病院 特命副院長 牧野永城氏よりご講演をいただきました。講演では、米国で最も規模の大きい医療評価機関であるMHA (Maryland Hospital Association:メリーランド州病院協会) プロジェクトに日本より唯一参加した亀田総合病院の経験として、病院の診療改善の手法の一つとして用いられている、診療の経過と結果に関する指標であるクリニカルインディケーターについて詳細にご紹介いただきました。また、他病院の結果と比較するだけではなく、なぜ、そうなったのかをレビューし、診療の質を向上させる必要があるとの説明がありました。

また、NSネット伊藤交流部長からNSネットが取り纏めたパフォーマンス指標の概要説明の後、会員からの良好事例紹介におきましても、パフォーマンス指標に関する事例の紹介として、関西電力(株)大飯発電所 所長室 総括係長 高木俊弥氏より「パフォーマンス指標の効果的な運用による安全文化醸成」、(株)日立製作所 電力・電機グループ 原子力事業部 原子力QAセンタ長 鈴木敏雄氏より「BSCシステムとパフォーマンス指標の活用による効果的な業務管理」についてご紹介いただきました。その後のディスカッションでは、安全性向上を目指してパフォーマンス指標の設定や評価方法、社員への浸透努力などについて議論が行われました。



▲ 講演の様子



▲ 良好事例紹介(左から鈴木氏、高木氏)

第6回評議員会を開催

平成15年2月7日に東京都千代田区の経団連会館においてNSネットの第6回評議員会を開催しました。本評議員会では、平成14年度の活動状況、平成15年度の事業計画案を中心に、各評議員から活発な討論が行われました。



第6回評議員会における座長による意見の取りまとめ結果は以下の通りです。

1. 原子力広報、安全文化普及活動について

- (1) 原子力広報活動にあたっては、ポイントをはささないためにも、聞き手がどこに関心を持つかを心掛けて対応すべきである。
- (2) これからは、原子力は不安だけれども必要なんだという一般の心情を前提として、その不安を取り除くための広報のあり方や仕組みを検討すべきであり、NSネットとしても関わっていく必要がある。
- (3) NSネットのセミナーや講演会で取り上げた講演内容は、いわゆる成功体験が中心になって議論されているが、むしろ逆に失敗体験を出すことも必要であり、効果的である。
- (4) 小冊子については、作成・配付だけでなく、小冊子を教材にし、講師派遣するなどの有効活用に対する踏み込みが必要である。

2. ピアレビューにおけるレビューアについて

相手が女性の場合には、男性の視点と違う別の視点があるため、その意味でも女性をピアレビューのレビューアとして参加させることが必要である。



▲ 牧野理事長



▲ 石井座長



▲ 碧海評議員



▲ 田中評議員



▲ 畷評議員



▲ 大平評議員

NSネットではこれらのご意見を活動方針に反映することにより、よりよい運営を目指していきます。

2月23日から3月2日にかけて開催された(社)海外電力調査会のベトナム現地セミナーに、NSネットも講師として参加し、「安全文化」について説明を行いました。参加者であるベトナムの原子力関係者から、安全文化に対する多くの質問があり、関心の高さを伺い知ることが出来ました。

NSネットでは、海外に対しても、機会をとらえて、安全文化の理解促進に努めていきます。

相互評価（ピアレビュー）の実施状況について

今回は第28回の原燃輸送（株）本店・六ヶ所輸送事業所及び第29回の電源開発（株）本店で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要および報告書の全文をNSネットのホームページ（<http://www.nsnet.gr.jp>）に掲載していますのでご覧ください。

平成14年12月3日及び12月18日から20日にかけて行われた第28回のピアレビューは、（株）日立製作所、中国電力（株）、ニュークリア・デベロップメント（株）の専門家及びNSネット事務局（計4名）が評価チームに参加しました。また、平成15年1月21日から23日にかけて行われた第29回のピアレビューは、三菱重工業（株）、（株）神戸製鋼所、四国電力（株）の専門家及びNSネット事務局（計4名）が評価チームに参加し、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション、データの取扱い等にも注意を払ってレビューしました。

第28回の評価の結果、原燃輸送（株）においては、情報の共有化、風通しのよい風土づくり、コンプライアンス（法令遵守）の徹底を、社長自ら先陣を切って行動するなど全社員が安全確保に対して真剣かつ誠実に取り組んでいる状況が確認されました。

また、NSネットの会員外から、東京大学大学院教授の古田一雄氏にオブザーバー参加いただき、「現状の原子力の置かれている社会的立場では、ひたすら安全に配慮している誠意を態度として見せるしかない」と考えており、ピアレビューが有用な社会システムとなることを期待している。」との講評をいただきました。



▲ 報告書の提出

牧野理事長（写真右）より原燃輸送（株）森社長（写真左）へ

また、第29回の評価の結果、電源開発（株）においては、建設準備を行いながら「民営化に対する意識改革」を基本的なテーマとし、コミュニケーションの改善、職場の活性化、原子力PAの推進など基盤整備に積極的に取り組んでいることが確認されました。

〈主な良好事例〉

- YG活動*によるコミュニケーションの活性化
- 地域学校授業への社員講師派遣
- 転入者研修講師への若年層社員の起用
- フルMOX-ABWR CAI装置の活用

〈改善提案〉

- 内部監査の有効活用
- 臨界安全に関する教育項目の明確化

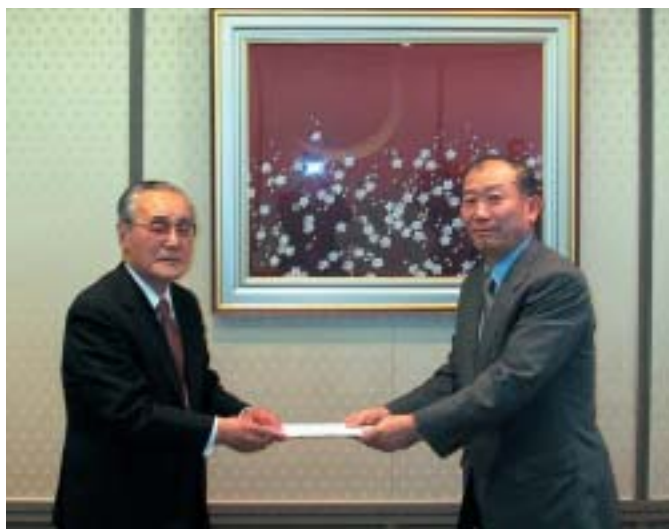
*：ワイワイガヤガヤ活動（小集団での議論・実践活動）

〈主な良好事例〉

- 社内外での良好なコミュニケーションの推進
- 体系的かつきめ細かな資格認定制度の実施
- 原子力発電所における自主点検データ不正問題を契機とした輸送容器定期自主検査記録の自主的再確認
- 「反省の日（毎年10月6日）」の制定による「レジン問題」の風化防止

〈主な改善提案〉

- 故障・トラブル時における情報発信対応の広報・渉外マニュアルへの追加
- 内部監査への安全・保安関係項目導入の検討
- ヒヤリハット事例のより積極的な活用



▲ 報告書の提出

牧野理事長（写真左）より電源開発（株）中垣社長（写真右）へ

安全キャラバンの実績

今回は第46回から第48回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

回	訪問日	訪問事業所	安全講演会講師	講演テーマ
46	1月30日	関西電力(株) 美浜発電所	金沢工業大学 教授 札野 順 氏	企業倫理プログラムの構築に向けて ～安全文化と価値共有～
47	2月7日	中部電力(株) 浜岡原子力発電所	三菱重工業(株) 神戸造船所 品質保証部 次長 工藤 雅春 氏	安全、安価、そして安心の品質保証へ
			(財)電力中央研究所 経済社会研究所 上席研究員 谷口 武俊 氏	判断バイアスを理解する
48	2月28日	日本原子力発電(株) 東海第二発電所	元 石川島播磨重工業(株) 副社長 天野 牧男 氏	秘訣 トップが枕を高くして寝るための



▲ 札野氏

「技術に関連する行動規範をすべて明文化し、技術者をそれに従わせるという倫理プログラムは、機能しないでしょう。それよりも、企業が重視する価値を明確にし、それを共有する、価値共有型の企業倫理プログラムの構築を目指すべきでしょう。」



▲ 工藤氏

「安全、安価、安心を同時に達成するために、仕事のやり方等を含めてのシステムが必要ですが、その中でも最も重要なのはそれらのシステムに関与する『人』だと考えています。」



▲ 谷口氏

「意思決定の判断の中でどのようなバイアス(思考偏向)に陥る可能性があるのかということを理解しておくことは、自分の判断能力を向上させるとともに、広く社会とのコミュニケーションにも役に立ちます。」

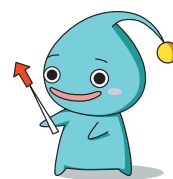


▲ 天野氏

「良くするための秘訣は悪いことをみつけてそれをやめることです。トップには正しい報告が上がるのが大切です。上がるか、上がらないかはトップ次第です。」

セイフティ・カルチャー シリーズVol.3

「技術者倫理・企業倫理ってなに？」を発行しました。
是非ご一読ください。



NSネット (ニュークリアセーフティーネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティーネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るため設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.18 2003年3月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL: 03-5220-2666 FAX: 03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnet.gr.jp>

